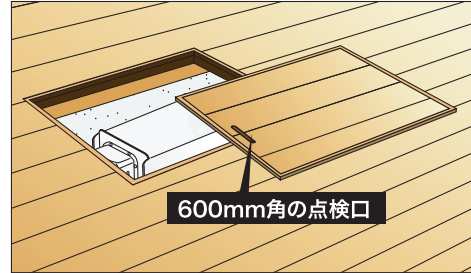


# 計画換気と注意事項

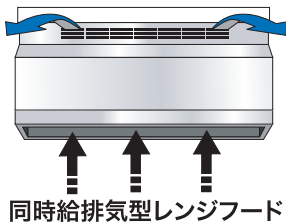
当社の換気システムに限らず給気口と排気口から明確な換気を行うには、建物の気密性が重要です。排気ファンの能力だけでなく、施工やその他の設備機器にも配慮してください。

## 熱交換器本体の真上に点検口の設置

澄家E 換気システムは、年に一度を目安にお施主様に熱交換器の簡単な掃除（埃があれば掃除気等で吸い出す）をして頂きます。必ず、熱交換器の真上に床下点検口600×600mmを設けて下さい。

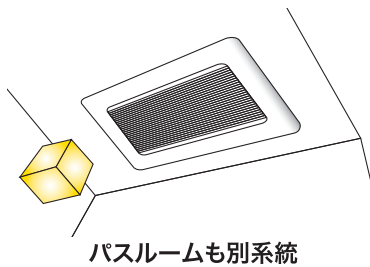


## ■キッチンと浴室は別系統



キッチンのレンジフードは排気量が大きく、運転時に排気風量分の給気を行わないと室内が減圧になり、換気のバランスが崩れます。エネルギーの無駄や不快感を無くす為にも同時給排気型を推奨します。

※ 予算の都合や意匠上、難しい場合はこの限りではありません。

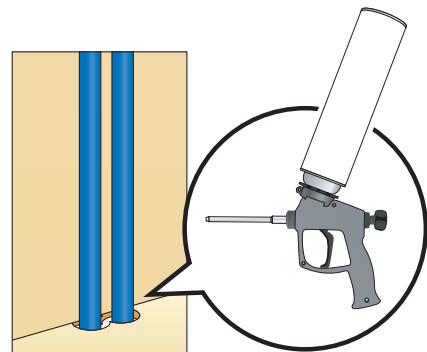


バスルームは、ユニットバスに付属の換気扇で行ってください。計画換気だけだと同時給排気タイプが良いですが、冬場は冷気が入り寒さを感じますし、換気風量もわずかです。快適性を考慮すると排気タイプのファン(逆止弁付)の選択が良いでしょう。

**トイレに換気扇は不要です。熱交換器で換気しますので、新たに換気扇を設ける必要はありません。**

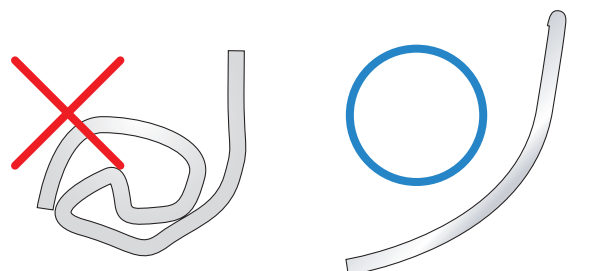
## 隙間はできるだけ小さく

給排水及びガス管も空気の通り道となりますので、空気が逃げないようにできるだけ小さく開口して下さい。また、大きな開口部はウレタンフォームやコーキングなどでふさいでください。



## ダクトは緩やかに配置

チャンバー・ファン・室外排気口は、なるべく直線になるように配置します。排気ファン本体との接続ダクトは、できるだけ緩やかな曲線を描くように曲げてください。ダクトが余る場合はカットしてください。



極端なねじれ

できるだけ緩やかに